ソフトテニス

総合体育大会（男子）

団体戦　＜予選リーグ＞

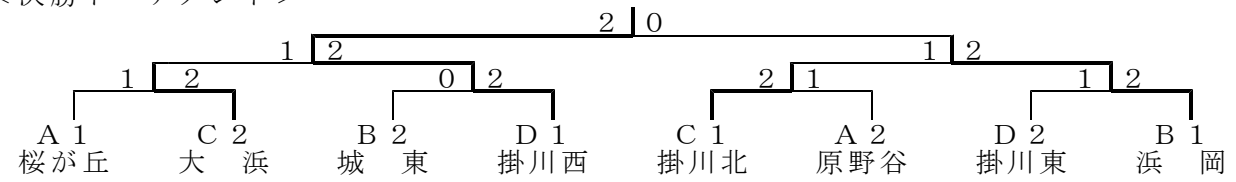
A	桜が丘	御前崎	原野谷	順位
桜が丘		③	②	1
御前崎	0		1	3
原野谷	1	②		2

B	浜　岡	菊川東	城　東	順位
浜　岡		③	②	1
菊川東	0		1	3
城　東	1	②		2

C	掛川北	大　浜	菊川西	順位
掛川北		②	③	1
大　浜	1		③	2
菊川西	0	0		3

D	掛川東	掛川西	岳　洋	順位
掛川東		1	②	2
掛川西	②		②	1
岳　洋	1	1		3

＜決勝トーナメント＞



大会結果　優　勝　掛川西　　準優勝　浜　岡　　３　位　掛川北、大　浜

個人戦

優　勝	渡邉・栗田（掛川北）	準優勝	野沢・山﨑（桜が丘）
３　位	井野・菊池（掛川西）	４　位	大村・鈴木（掛川東）
５　位	堀田・戸田（掛川西）	６　位	田代・井上（岳　洋）
７　位	柘植・杉田（菊川西）	８　位	松浦・鈴木（掛川西）

大会寸評

掛川市立西中学校　大倉　佑太郎

今年度は、団体戦は天候に恵まれ予定通り行うことができたが、個人戦は雨天順延となった。個人戦の翌日予備日開催では２時間遅らせての開会式となり、ベスト８までの選出となった。ベスト８以降の順位戦は翌週１６日の午前中を使って掛川西中学校でおこなった。団体戦では、シード戦通りに桜が丘、掛川北、浜岡がリーグ戦を１位通過する中、Dリーグでは、掛川西がシード戦ベスト４の掛川東を倒し１位通過した。決勝トーナメントでは、新人戦・シード戦共に優勝の桜が丘が初戦で敗れたり、昨年度東海大会出場の渡邉要する掛川北が準決勝で敗れたりと波乱が起きた。その中、予選１位通過と波に乗った掛川西が決勝トーナメントでも勢いそのままに勝ち進み優勝を飾った。個人戦では、掛川北中の渡邉・栗田ペアが危なげなくゲームを進め優勝を飾った。県大会では、小笠地区は苦戦を強いられ、掛川西・浜岡共に初戦敗退、個人戦でも初戦敗退が相次いだ。その中、掛川東中の大村・鈴木ペアが奮闘し、３回戦進出を果たした。今大会の実績を糧にして、小笠地区の選手がさらにレベルアップしていくことを期待する。また、今年度は団体戦においてチームの仲間を一生懸命応援する姿が例年以上に見られた。ベンチに入ることができなかった選手が大会を非常に盛り上げ、良い雰囲気の大会であった。各校の活気ある応援が小笠地区の新たな伝統になればよい。最後に大会を運営するにあたり、快く引き受けていただいた各顧問の先生方、会場準備や片付けに精力的に取り組んでくれた城東中学校、運営に協力してくれた浜岡中・掛川西中学校のみなさん、そして、応援してくださった保護者のみなさんに心より感謝したい。

優勝作文

掛川市立西中学校　松浦　佑紀

掛川市立西中学校男子ソフトテニス部は、中体連小笠地区大会で団体戦６連覇を達成し、県大会出場を成し遂げました。また、個人戦でも、３位、５位、８位に入りました。

僕たちの代にはソフトテニステニス経験者が一人もいませんでした。そのため、先輩方に残していただいた小笠５連覇という偉業を引き継げるか、正直とても不安でした。そんな僕たちを指導して下さった先生方やコーチの方々、支えてくれた１，２年生の後輩達、そして温かく見守ってくれた家族の存在があったからこその『６連覇』だと思います。

掛川西中のソフトテニス部で過ごした２年半は一生の思い出となりました。今までありがとうございました。